

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

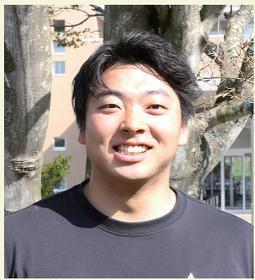
現在活動している協力隊〈5月末現在〉

農業▷8人 教育魅力化▷2人 観光▷1人
起業型▷7人 協働型▷7人 スポーツ▷1人

スポーツ振興支援員

いのうえ つばさ
井上 翼さん

着任：令和7年4月（1年目）
出身：東京都



—これまでの経歴について教えてください。

小学生のころはサッカーに夢中でしたが、中学では陸上部に入り、砲丸投げに出会いました。指導者との縁もあり、投てき競技にのめり込みました。高校は陸上の強豪校へ進学し、砲丸投げで全国大会にも出場しました。大学では円盤投げと砲丸投げの両方に打ち込みました。競技力向上のために厚真町などで合宿したことが、人生の転機となりました。

—厚真町に来たきっかけは？

大学時代に厚真町で開かれた合同合宿に参加し、町内の陸上競技活動を知りました。地元の指導者から受けた技術的・精神的なサポートは大きく、停滞していた記録が伸びて、再び競技が楽しくなりました。卒業後の進路で「競技を続けながら地域に貢献できる働き方はないか」と考えた時に、地域おこし協力隊という選択肢を知りました。厚真は全国に先駆けて部活動の地域展開を取り入れ、準備委員会を設立しています。そのような環境で当事者として関わり学びたいと思いました。

—主な活動内容を教えてください。

総合型地域文化・スポーツクラブの設立準備委員会と、スポーツ少年団連絡協議会の事務局を担当しています。来年2月のクラブ設立に向けて、総会や交流会への参加、他地域への視察に行っています。町内の陸上競技会や体験イベントの企画、運営、広報活動などに取り組んでいます。今後は、スポーツを通じた交流や町の魅力発信にも携わっていきたいと思っています。個人的には砲丸投げの競技者として、日本一を目指して練習に励んでいます。

—今後の目標を教えてください。

1年目はクラブの設立に向けてホームページを立ち上げ、SNSを活用して情報発信して認知度を高めていきます。2年目以降は、クラブ運営が中心になります。スポーツだけではなく、吹奏楽や和太鼓、日本舞踊など、文化要素も取り入れる予定です。個人目標は、砲丸投げで日本選手権の出場標準記録を突破し、全国の舞台で戦うことです。3年後、自分がどのような成長をしているのか楽しみです。競技も地域活動も、全力で挑み続けます。

厚真町とみなさんの関係をつなぐウェブサイト「あつまのおと」では、地域おこし協力隊の情報はじめ、町の「ヒト・コト・モノ」、「挑戦と出会い」の情報を発信しています。



住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅用火災警報器の設置は、消防法で義務づけられています。町内の設置率は4月末時点で全世帯数の93.0%です。胆振東部消防組合消防署厚真支署は、未設置の住宅への普及・促進の取り組みとして、厚真町に居住する65歳以上のみの世帯を対象に、住宅用火災警報器取付費用給付事業を実施しています。



熱中症対策は万全ですか？

気温の上昇に伴い、熱中症対策が必要な季節を迎えました。こまめに水分補給し、適度に休息をとりましょう。特に高齢者や子どもは熱中症になりやすいので、室内の温度管理をしっかり行いましょう。また、外出時には帽子や日傘などを利用し、無理な運動はしないように心がけてください。

地震に備えて日ごろからの準備を！

地震は突然襲ってきます。あなたと家族の命を守るために、家族で避難場所や連絡方法を話し合い、飲料水や非常食などを準備しておくことが重要です。家具の固定や避難経路の確認、非常用持ち出し袋を備えておくなど、自己防衛の対策をお願いします。

問い合わせ 胆振東部消防組合消防署厚真支署 ☎26-7119